

令和8年度 新潟県委託事業「在宅看護(地域連携)研修会」全日程・公開講座 プログラム

目的 地域連携に必要な専門的知識と手法を修得し、多職種連携の強化と実践に活かすことができる

日程 全日程:○講義4日間(21時間) ○施設実習2日間(詳細は最下段を参照) 公開講座:○講義4回

方法 講座により開催方法が異なります。下記をご参照ください。

○会場受講:会場 新潟県看護研修センター

○ハイブリッド型:会場受講またはオンライン受講が可能です。

会場受講の場合、会場は新潟県看護研修センターです。

オンライン受講の場合は「オンライン受講申込書」を開催日10日前迄にご提出ください。Zoom情報は事前にお送りする「次第」に記載します。

費用 全日程:講義資料代 ○看護職の方:会員8,800円(税込) 非会員26,400円(税込)

公開講座:講義資料代 各回 ○看護職の方:会員2,200円(税込) 非会員6,600円(税込) ○看護職以外の方:6,600円(税込)

募集 全日程:20名 公開講座:6/9・7/23 各20名 10/17・11/14各30名

① 講義 (全日程・公開講座)

| 全日程 | 公開講座 |    | 開催日          | 時間<br>時間数            | 方法                     | 会場               | 講座名                    | ○ねらい ・学習内容  | 講師 (敬称略)  |
|-----|------|----|--------------|----------------------|------------------------|------------------|------------------------|---|---|
|     | 回数   | 募集 |              |                      |                        |                  |                        |   |   |
| 1   | 1    | 20 | 6/9<br>(火)   | 9:30~12:00<br>2.5時間  | 全公開講座:<br>会場<br>ハイブリッド | 大<br>研<br>修<br>室 | 在宅ケアシステム               | ○在宅ケアシステムの基本を理解できる<br>○多職種連携における訪問看護の役割を理解し述べるができる<br>○多職種連携の実践方法を考えることができる<br>・在宅ケアシステムの定義、目的 ・介護保険制度の基本<br>・介護支援専門員の役割 ・多職種連携 ・地域におけるBCP<br>・訪問看護師に求められること ・AIと在宅ケア (ICT推進) 等   | 新潟市居宅介護支援事業者<br>連絡協議会<br>会長<br>丸山 径世  |
|     |      |    |              | 13:00~15:30<br>2.5時間 |                        |                  | 医療機関と地域の連携             | ○医療機関と地域との連携の基本を述べるができる<br>○医療機関と地域との連携における看護職の役割を理解し述べるができる<br>○医療機関との連携における実践方法を考えることができる<br>・入院支援における連携 ・外来看護における連携<br>・看護職の役割 ・訪問看護師に求められること 等  | 社会医療法人 立川メディカルセンター<br>立川総合病院<br>地域医療介護連携センター<br>入退院支援 看護主任<br>慢性心不全看護認定看護師<br>白倉 透規 |
| 2   | 2    | 20 | 7/23<br>(木)  | 9:30~12:00<br>2.5時間  | ハイブリッド                 | 中<br>研<br>修<br>室 | 地域ケアシステムの理解            | ○地域ケアシステムの基本を説明することができる<br>○地域において看護職に求められる役割を述べるができる<br>・地域ケアシステムの基本、地域診断<br>・地域ケアシステム構築において必要な視点<br>・地域ケアシステムの実践 等  | 新潟大学大学院保健学研究科<br>准教授<br>井上 智代   |
|     |      |    |              | 13:00~15:30<br>2.5時間 |                        |                  | 訪問看護の実際                | ○訪問看護のしくみについて説明することができる<br>○医療機関と訪問看護の連携における実践方法を考えることができる<br>・在宅療養者と家族 ・訪問看護制度<br>・訪問看護師の役割 ・訪問看護と医療機関の連携 等  | 公益社団法人新潟県看護協会<br>訪問看護ステーションにいがた<br>訪問看護認定看護師<br>高橋 美佳子                              |
| 3   | 3    | 30 | 10/17<br>(土) | 10:00~13:00<br>3時間   | ハイブリッド                 | 大<br>研<br>修<br>室 | 意思決定支援・在宅における緩和ケアと看取り  | ○意思決定支援の基本を説明することができる<br>○在宅における緩和ケア、看取り支援における看護職の役割を述べるができる<br>○意思決定支援および緩和ケア、看取り支援の実践方法を考えることができる<br>・意思決定支援とは ・訪問看護と緩和ケア、看取り支援<br>・意思決定支援に活かせるコミュニケーションスキル 等   | 訪問看護ステーションふくふく<br>管理者<br>緩和ケア認定看護師<br>中野 美佳   |
|     |      |    |              | 14:00~16:00<br>2時間   |                        |                  | 在宅における診療<br>訪問診療       | ○在宅における診療の仕組みの基本を説明できる<br>○医師と看護職員の連携について理解し、実践方法を考えることができる<br>・診療所の診療、訪問診療、往診の仕組み<br>・訪問診療や往診の対象と移行する時期<br>・在宅医療に関わる多職種との連携<br>・病院看護師、訪問看護師、施設看護師等に求められること 等   | 山の下クリニック<br>院長<br>阿部 行宏   |
| 4   | 4    | 30 | 11/14<br>(土) | 9:30~16:30<br>6時間    | 会場                     | 大<br>研<br>修<br>室 | 地域ケアシステムにおける在宅療養に向けた支援 | ○本人の意志を尊重した在宅療養支援を行うための看護職の役割を理解し、自施設の課題を明確にして、解決に向けて行動できる。<br>講義「2040年に向けた「新たな地域医療構想」から看護職に求められる役割を理解する」<br>・4つの場面で再考<br>(退院支援・日常の療養支援・急変時対応・看取り)<br>・ケアプロセスを切れ目なくつなぎ、意思決定を支える院内、院外の仕組み<br>・ICT/DXを活用し、ACPをつなぎ、叶える地域連携<br>グループワークと全体共有 | 在宅ケア移行支援研究所<br>宇都宮宏子オフィス<br>宇都宮 宏子  |

| 期間        | 時間               | 場所・日数  | ○目標 ・内容  | 備考                                       |
|-----------|------------------|--|--|--|
| 7/1~11/13 | 実習施設と相談<br>5時間以上 | 以下の○から一つを選択する<br>【病院所属等】<br>○訪問看護ST×2日<br>○訪問看護ST×1日と<br>地域包括支援センター×1日<br>【訪問看護ST所属】<br>○訪問看護ST1日と病院1日<br>○訪問看護ST1日と<br>地域包括支援センター1日 | 【病院等所属】<br>○訪問看護や地域包括支援Cの業務の実際および役割を理解し述べるができる<br>○在宅療養者と家族の生活の実際を体験できる<br>○地域との連携、自施設の役割について考えることができる<br>・日々の業務の見学 等<br>【訪問看護ST所属】<br>○病院や地域包括支援Cの業務や体制の実際を理解し述べるができる<br>○地域における連携、自施設の役割について考えることができる<br>・事業所内業務の見学<br>・事業所外業務の見学や同行体験 等 | ・実習は協力の了解を頂いた施設で行う<br>・施設、日程については協会が調整する |